



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、 それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。 小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

大量生産・大量廃棄が自然破壊や地球温暖化につながる =#=

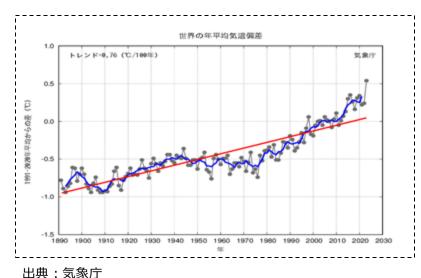


■ 課題の現状/経緯/影響

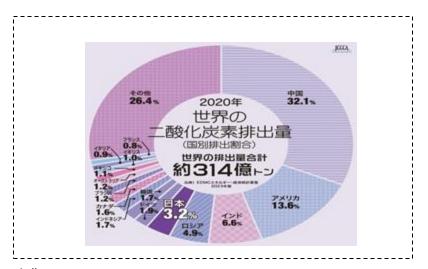
- 大量生産・大量消費は世界中で大量の廃棄物を発生させ、廃棄物の処理に広大な土地が必要となり、 ゴミの焼却により大量の二酸化炭素が発生する為、地球温暖化が問題となっている。
- さまざまな技術が発展したことで、いろいろな商品が安価で入手できるようになり、使い捨て商品が 増加し、すぐにものを買い替えるようになった
- ■ 二酸化炭素濃度が上昇したことで平均気温が長期的には世界で100年あたり0.76℃の割合で上がり、

 それに伴い海面も上昇、気候変動による異常気象や自然災害が発生している。

■ 平均気温の推移



■ 二酸化炭素の排出量



出典:<u>JCCCA</u>

山典:<u>JCCC</u>

本来捨てられるモノを利用してキャンプギアを開発



■ 実行者/解決方法/残る課題

- 2020年1月に創立した株式会社LINPSは「わたしたちはかえす。自然に、人に、すべての想いに。」を掲 げて**アウトドアブランド「CAESU」**を運営している。
- 余った鉄板の廃材や、不揃いな長さの鉄パイプなど、大小様々な「ゴミ」で**廃材から生まれる焚き火台**が 2023年1月に開発された。
- 他の会社でも取り組むにあたって、キャンプギアのメーカーとリサイクル加工業者との繋がりが少ない。

■ 鉄板廃材



出典:株式会社LINPS

■ 廃材から生まれる焚き火台



出典:<u>株式会社LINPS</u>

▶ NEXT: キャンプギアのメーカーとリサイクル加工業者のパイプラインの構築

キャンプギアのメーカーとリサイクル加工業者のパイプラインの構築



■ 弊害の原因/理想/企業施策

- メーカーにとって新たに必要な素材と、捨てられる素材の情報交換ができる場が乏しい。
- スムーズに情報交換することで今まで捨てていた物を**必要な場所に必要なだけ素材を提供できること が理想である**。
- 素材を持つ会社がイベントなどを開催して他のメーカーに**廃材見学会**を行い、新たな商材や商品のイメージをつけてもらう事ができる。

■ メーカーと産廃業者の連携イメージ

メーカーと産廃業者の連携イメージ (ペットボトルの場合) 消費者が使用 飲料メーカー が製造 産廃業者が原料に加工

■ 展示会イメージ



出典:<u>時事通信社</u> 出典:<u>中小機構</u>

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 気象庁, 「世界の平均気温」,2024年2月16日参照 (https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html)
- JCCCA,「データで見る温室効果ガス排出量(世界)」,2024年2月16日参照(https://www.jccca.org/global-warming/knowleadge04)
- 時事通信社,「使用済み、同じ製品に再生産=「水平リサイクル」調査へ―メーカーと産廃業の連携促進・ 環境省」2023年08月27日参照(https://www.jiji.com/jc/v8?id=202212keizaihyaku084)
- PR TIMES, 「自然にやさしい選択肢を提供する「環境保護特化型のアウトドアブランド」CAESU.SDGs OUTDOORが生み出すエコキャンプ推進のためのキャンプギア」,2024年1月10日(https://prtimes.jp/story/detail/px1mogHVydx)
- 中小機構,「展示会への出展支援」,2024年2月27日参照(https://www.smrj.go.jp/sme/overseas/exhibition/)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- ◆ 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。